

環境市場新聞  
66号掲載

### 神奈川県秦野市◎TMビル 求めた通りのサービスに納得 保安体制や電気点検簿も高く評価

小田急線秦野駅からほど近くにあるTMビル。近隣住民や駅利用者の生活を支えるコンビニエンスストアと、居酒屋など飲食店が入居するテナントビルだ。

オーナーの座間毅さんは以前、自身でそれぞれの子メーターを読み、手計算で電気料金を算出し各テナントに請求していた。作業は手間がかかり、そのうえ料金の公平性に疑問が持たれないか心配だった。そこでテナントごとに自動で検針できないか電力会社に問い合わせた。だが、住居目的の建物以外はオーナーへの一括請求になると断られてしまう。

解決策を模索する中でインターネットの情報から日本テクノのエコテナントを知った。サイトで問い合わせしてみると、担当者からすぐに連絡が入った。説明されたサービス内容は、まさに自分が求めていたものだと実感できた。納得した座間さんは2020年9月、サービスの導入を決めた。

導入から約1年たった今の感想を聞くと「月々の請求管理作業からの解放は本当に助かっています。評価できる点はほかにもあります。その1つが対応の早さ。ここ数年大気が不安定になることが多く、先日も停電がありました。そのとき、直後に携帯電話へ通報が入り、復旧作業を進めてくれたんです。担当の技術者さんは市内に住んでいてすぐ駆けつけてくれるのでとても安心です」とエコテナント導入時に切り替えた保安サービスにも不満はないとほほ笑んだ。

「キュービクル点検後の報告書も、以前は紙の書類を1階のコンビニに預けてもらっていたのですが、少し前から電子化されメールで確認できるようになりました。私は、ビルに常駐しているわけではないので、そのシステムは大変便利ですね」と現在日本テクノが進めている点検報告書の電子化(電気点検簿)も評価する。

自動検針や電子化による事務作業の効率化と安心できる電気の保安体制。エコテナント導入で座間さんは複数のメリットを得た。

